

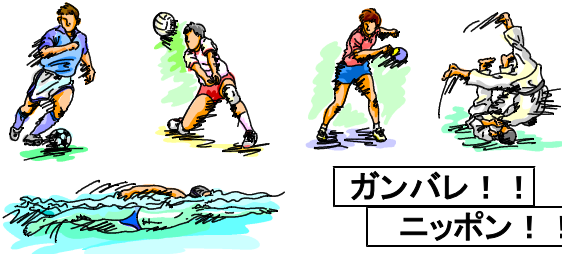
# じやーじい

## 楽しさの夏

校長 西山 守

今年の夏も厳しい暑さとなるのか気がかりなこのごろです。

さて、いよいよ夏休みが始まります。子どもたちが健康で安全に過ごし、一段と成長できる夏休みとなることを願っています。ご家庭でも「早寝早起き朝ご飯」などの生活リズムを崩さぬよう留意され、子どもたちが有意義な体験ができるようよろしくお願いします。



今夏はオリンピックが開催されますが、今からどのような感動的なシーンが繰り広げられるのか楽しみです。

スポーツや音楽、芸術などが私たちの生活に楽しさや潤いや豊かさをもたらしてくれることは間違いありません。

「楽しさ」というと余暇やレジャーを思い浮かべる人も多いと考えます。大事な努力を果たしている日々の合間に、少しだけ許された息抜きの時間のような感覚とでもいうのでしょうか。

しかし、「楽しさ」は生きていく上で根源的なものではないかと考えます。生きていくことと「楽しさの追求」が等しくなっている人は、この上なく幸福な人ではないかと思えます。ただ、これは、好きなことをやってのんびり暮らすことが幸福とっているわけではありません。

何を楽しいと感じるか。あるいは、大変さの中にも楽しさを見いだせるかということが肝要です。

最近いわゆるいじめに関する報道が少なくなりましたが、いじめは古今東西あらゆる場面で起こってきました。

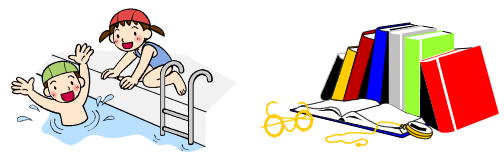
いじめる側は、残念ながらいじめることにある種の楽しさを見いだしてしまっているのでしょうか。子どもたちには絶対にこうなってほしくないものです。この対極のことに楽しさを見いだしてもらいたいのです。

例えば、自分が少し苦労しても、人のために役立つことに楽しさを見いだすことです。

「よくがまんしたね。あの人も喜んでくれてよかった。」と感じ、自分の心が少し満たされた気分になる。こんな子は、常に楽しさを感じられるのではないのでしょうか。

あるいは、「これは大変だけど、これをやり遂げることで、自分が少し成長できる。だからがんばろう。」と考えられる子は、苦しさを感しながらも、それに耐える自分に喜びを見いだすことができるでしょう。やり終えた後には、爽快感・達成感とともに自分で自分にご褒美をあげたくなるでしょう。

このような生き方ができる人は、とても幸福な時間を多く過ごせる人なのだと考えます。



### プールや読書などにもチャレンジの夏!

夏休み中、子どもたちにもこのような楽しさ体験をしてほしいものです。何が価値のあることか考え、そこに向かって歩むことに楽しさを見いだす経験ができればと思います。ご家庭でも、子どもたちと共に考え、支援していただければ幸いです。



**2学期始め** 9月1日(木) 8:15までに登校 提出物・うわばき・防災ずきんもわすれずに!  
始業式 給食始め 委員会活動(5時間目) <5・6年生と4年生の代表委員以外は給食後下校>

9月2日(金) 登校指導 保護者会5・6年 発育測定1年

